

# 分会情報

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会  
No.1 2 8      2 0 1 5 . 6 . 2 9  
発 行 責 任 者      松 本 幸 一  
編 集 責 任 者      教 宣 部

## **いよいよ7月から仕業検査体制見直しが始まる！！問題山積、見切り発車？！！ 明確に決まっていることは作業手順書やチェックシート！**

いよいよ7月から仕業検査体制見直しが始まります。これに合わせ、机上説明・現車説明が開催されましたが、問題がすべて解決したわけではありません。

こんな中でも作業手順書やチェックシートは完備されていました。作業手順、喚呼、など明確に決められ、項目が増えています。それに伴うチェックシートも同様です。作業者を点検する材料は完璧に準備できたわけです。つまりボーナスカットの理由（非違行為）を作るシステムは最優先に出来た訳になります。

一方、SEKとの契約については曖昧のままです。会社から「今までの修繕業務と合わせて客室検査も業務移管する」との説明がありました。

しかし、「NFBの復位はA担当が行う」「一斉点検、作業指示による検査はSEKが行うが、時間がなければ申告がする場合もある」「ポンチ絵や故障報告書はSEKが行うが、時間がなければ申告がする場合もある」「SEKが異常を見つけてもA担当に報告し指示をもらってから作業を始める。しかし、時間がなければ申告がする場合もある」などの説明でした。これでは今まで通りの修繕業務は出来ないし、客室検査としても不十分です。しかし、会社はSEKとどんな契約になっているのか明らかにしません。また、SEKのスリ板運搬などによる腰痛防止の対策についても具体的になっていません。

サービックとの競合作業も曖昧です。7月から仕業検査はまず、床下検査から始まります。この時にサービックが水タンクの排水作業をすると床下検査ができません。今までは側検査なので避けられていましたが、床下では水浸しになります。汚物ホースの取り付けにしても今まで側検査が終了してから取り付けていましたが、7月からどうなるか明らかになっていません。汚物ホースが邪魔になって側検査ができない事態も考えられます。

### **「作業ダイヤは出さない」**

### **「床下、側検査時間は今までの18分ではなく、短くなる」と明言！！**

会社は説明の中で「作業ダイヤは出さない」「床下、側検査時間は今までの18分ではなく、短くなる」と明言しました。検査内容が変わらないのに、なぜ時間が短くなるのかの説明はありません。なぜ、会社は「作業ダイヤを出さない」のかと言うと、出すと「仕業の標準時間は50分」というウソがばれてしまうからです。出せないのです！！

**会社は「意見をもらったら変更もあり得る」と言っていますので、どんどん要求を上げていきましょう。会社のスローガン「安全最優先」に則って作業者の安全や時間がなく焦りからくる作業ミスが無いように会社に言っていきましょう！！**